

○全体を通して

兵庫県大会は、どの分科会も地域色を生かした地域づくり活動を紹介したものであった。積極的な地域づくり活動を行っている団体が多いと感じた。参加した第2分科会（明石市）は、他の自治体よりも昔から取り組んでいたことに

よる地域の意識醸成に加えて、制度面でも先進的な部分が多く、特に積極的に活動する団体が多い印象を受けた。ただ、それでも高齢化や次世代への継承については苦勞している面も感じ取れた。

第8分科会

香美町

日本3大美味食が地域を育む

群馬県地域づくり協議会事務局 星野 千春

香美町第9分科会では21名の方が参加。活動紹介では、色々な方と出会い、見聞を広めていくことが地域づくりに繋がっていること。県内の方でも「不便な所」と言う地域ですが、ここも兵庫県、見て、体験をしていただきたいと思いを語られていました。

夕食会場の浅見亭では、「但馬牛と舞茸 ほうれん草のバター焼き」「里芋と栃餅のカブラ蒸し」など地元の特産物を使った品々を堪能しました。よなべ談議では、3日前に解禁になったカニが振る舞われました。

2日目は、全国和牛の血統99.9%を占めている但馬牛の昼夜放牧を見学。三重県の品評会で1位を獲得され高値がつけられました。2位との差額は歴然で、1位でなければ駄目とのこと。但馬牛は日本農業遺産に登録され、現在は世界農業遺産に申請中です。

全国棚田100選のウヘ山を見学。たくさん棚田があるそうですが、100選に選ばれたのはこの地区のみ。ご高齢のため休耕田が出そうになり、100選から外されるかもしれない危機がありました。集落の若者が武勇田という団体をつくって管理をすることで危機を免れました。教育の一環として中高生の田植え体験や、SNSで参加者を募るなどして地域振興にも工夫して活用されています。



但馬牛の昼夜放牧 見学



全国棚田100選「ウヘ山」

板仕野区は自然豊かで山陰海岸ジオパークの散策コースに認定され、米作りと合わせるために水車小屋を復活させました。昼食では水車小屋でついたお米をおにぎりとして出してくださいました。バスで移動後、余部鉄橋を見学しました。明治45年に鉄橋が完成しましたが、勺配がきつく駅は造られませんでした。陳情を続けて昭和34年に無人駅が完成。現在は技術や思い出を伝えるため旧鉄橋の一部が残され、観